

旭川工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	国語Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0009	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	一般人文科	対象学年	2		
開設期	通年	週時間数	3		
教科書/教材	「現代文B」「新編古文B」(教育出版)、学習課題ノート(教育出版)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社)、「標準漢字演習」(とうほう)、国語辞典・古語辞典・漢和辞典				
担当教員	石本 裕之, 倉持 しのぶ				
到達目標					
1. 論理的な文章を客観的に理解することができる。 2. 文学的な文章を多角的に鑑賞することができる。 3. 日本文化への理解を深めることができる。 4. 現代日本語の知識を適切に活用して表現できる。 5. 論理的かつ効果的に双方向的コミュニケーションをとることができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	論理的な文章を客観的に理解することができる。	論理的な文章を理解することができる。	論理的な文章を理解できない。		
評価項目2	文学的な文章を多角的に鑑賞することができる。	文学的な文章を鑑賞することができる。	文学的な文章を鑑賞できない。		
評価項目3	日本文化への理解を十分に深めることができる。	日本文化への理解を深めることができる。	日本文化への理解を深めるできない。		
評価項目4	現代日本語の知識を適切に活用して表現できる。	現代日本語の知識を活用して表現できる。	現代日本語の知識を活用して表現できない。		
評価項目5	論理的かつ効果的に双方向的コミュニケーションをとることができる。	双方向的コミュニケーションをとることができる。	双方向的コミュニケーションをとることができない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 一般人文科の教育目標 ① 学習・教育到達度目標 本科の教育目標 ①					
教育方法等					
概要	現代文・古文・漢文をバランスよく学習し、知識・読解力・鑑賞力を身につけるとともに、論理的思考力を伸ばすことができるよう、シラバスに沿って授業を進める。漢字検定試験準2級以上(4年生までに2級)合格をめざす。				
授業の進め方・方法	予習を前提として授業を進める。現代文は本文を熟読し、漢字の読み方や語句の意味を調べておくこと。古文・漢文は授業で説明する方法を用いて授業の前にノートを作成しておく、授業中は必要事項を書き込むようにする。夏・冬の長期休暇には別途課題を課す。				
注意点	<p>授業内容をきちんと理解するために、毎回必ず予習をして授業に臨むこと。</p> <p>① 学習に有用な、しっかりしたノート作りを確実にし、理解力・表現力の伸長に心がける。 ▼はじめの授業にノート作り指導をする。以後、どの教材もその仕方各自ノート作りを行うこと。 ▼現代文・古文・漢文それぞれ別個の、ノートを用いること。(ファイル式は不可。) ▼古文は予習として、本文書写と活用語、特に助動詞の明示を怠らないこと。 ▼漢文は予習として、白文と書き下し文の記入を怠らないこと。 ▼現代文ノートでは特に、聞き取りながらメモする作業を重視すること。</p> <p>② 辞書を引く予習復習を行って、漢字力・語彙力を養成し、日常的な学習習慣を身につける。 ▼教材程度のレベルの文章を自力で読み解くことができるようになることが肝心。 ▼予習習慣の身に付けが、学習習慣身に付けの基礎であることを忘れないように。 ▼「自分で調べ、読み、書く」ことが「勉強」であると、銘記すること。</p> <p>③ 新聞を含め広く文章に親しみ、実際に読み書きすることを心がける。具体例としてコラム写書を行うことを推奨する。</p> <p>▼必要な能力を身に付けるために、国語が不得意と自分で思う者ほど取り組む必要がある。 ▼平常点に結びつくものであるから、国語が不得意と自分で思う者ほど取り組む必要がある。</p>				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス ノート法演習	・学習の取り組み方や意義・評価法等がわかる。 ・ノート作りが具体的にできる。	
		2週	【現代文】 ・アテネへの旅(随想)	・随想を読んで筆者の考えを読み取ることができる。	
		3週	・ミロのヴィーナス(評論)	・評論を読み、筆者の着眼点を正確につかむことができる。	
		4週	・ミロのヴィーナス(評論) 【古文】 ・北叟が馬(古今著聞集)	・評論を読み、論展開と筆者の主張を正確につかむことができる。 ・国語Ⅰでの学習を踏まえ古文を的確に読み取ることができる。	
		5週	・北叟が馬(古今著聞集) ・養老の滝(十訓抄)	・国語Ⅰでの学習を踏まえ古文を的確に読み取ることができる。	
		6週	【漢文】 ・此必苦李(世説新語) ・買履忘度(韓非子)	・国語Ⅰでの学習を踏まえ漢文を的確に読み取ることができる。	
		7週	・漁父辞(楚辞) 次週、前期中間試験を実施する	・訓点法を習得し、正確な書き下し文を書くことができる。	
		8週	答案返却指導 【現代文】 ・大人への丸太(随筆)	・随想を読んで筆者の考えを読み取ることができる。 ・要旨をまとめることができる。	

後期	2ndQ	9週	・山月記〈小説〉	・虎の姿に託して描かれた人間性とは何かを考え、登場人物の心の姿を理解することができる。	
		10週	・山月記〈小説〉	・虎の姿に託して描かれた人間性とは何かを考え、登場人物の心の姿を理解することができる。	
		11週	・山月記〈小説〉 ※伝えたいこと・高樹のぶ子	・小説を読み、主題を的確に読み取ることができる。 ※意見文を書くことができる。	
		12週	【古文】 ・丹波に出雲といふ所あり〈徒然草〉	・日本古典の代表的随筆を読み、筆者の考え方を理解することができる。	
		13週	・行く川の流れ〈方丈記〉	・日本古典の代表的随筆を読み、筆者の考え方を理解することができる。	
		14週	【漢文】 ・四面楚歌〈史記〉	・訓読の習得につとめ、歴史物語を通じて、人間の生き方について考えを深めることができる。	
		15週	・項王最期〈史記〉	・訓読の習得につとめ、歴史物語を通じて、人間の生き方について考えを深めることができる。	
		16週	前期末試験		
	後期	3rdQ	1週	【現代文】 ・〈像〉としての身体〈評論〉	・評論を読み筆者の意図を的確に捉えることができる。
			2週	・〈像〉としての身体〈評論〉 ・意味と身体〈評論〉	・独特の語句を読み取り、論の展開にそって、筆者の主張を理解することができる。
			3週	・意味と身体〈評論〉	・筆者の主張を流れにそって的確に内容を読み取ることができる。
			4週	【古文】 ・門出〈更級日記〉	・仮名日記を読み、表現の特色を味わうことができる。
			5週	・南院の競射〈大鏡〉	・歴史物語の内容や人物の描写を理解することができる。 ・敬語を理解することができる。
			6週	【漢文】 ・不忍人之心〈孟子〉	・儒家の思想を理解するとともに、人間の生き方やあり方についての考えることができる。
			7週	・人之性悪〈荀子〉 次週、後期中間試験を実施する	・儒家の思想を理解するとともに、人間の生き方やあり方についての考えることができる。
			8週	答案返却指導 【現代文】 ・記号の世界を生きる〈評論〉 ※こころ	・記号および記号論について興味をもち、すすんで本文を読むことができる。 ※小説を鑑賞し、読書レポートをまとめることができる。
4thQ		9週	・記号の世界を生きる〈評論〉	・構成や論の展開にそって、筆者の主張を理解することができる。	
		10週	・ことばの学習が科学的思考の基礎となる〈評論〉	・言語学習のプロセスについて興味をもち、すすんで本文を読むことができる。	
		11週	・ことばの学習が科学的思考の基礎となる〈評論〉	・構成や論の展開にそって、筆者の主張を理解することができる。	
		12週	【古文】 ・光源氏の誕生〈源氏物語〉	・日本古典の代表作を味わい、正確に理解することができる。	
		13週	・光源氏の誕生〈源氏物語〉	・敬語を理解することができる。	
		14週	【漢文】 ・無用の用〈老子・荘子〉	・道家の思想を理解するとともに、人間の生き方やあり方についての考えを深めることができる。	
		15週	・勸学〈荀子〉	・諸子百家の思想を理解するとともに、自分の思考を深めることができる。	
		16週	学年末試験		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	2	前3,前4,後1,後2,後3,後8,後9,後10,後11
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	2	後1,後2,後3,後8,後9,後10,後11
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	2	前2,前8,前9,前10,前11
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	2	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	2	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	2	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	2	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	2	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	2	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	2	
報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	2					

				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	2	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	2	
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	2	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	2	
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	2	
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	2	
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	2	
	結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	2				
態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	態度・志向性	コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	2	

評価割合

	試験	レポート	ノート	合計
総合評価割合	80	15	5	100
基礎的能力	60	5	5	70
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	20	10	0	30